

# 産業建設委員会記録

令和6年1月26日(金)  
10時00分～11時44分  
全員協議会室

【委員】川上委員長、田畑副委員長

村木委員、大谷委員、小川委員、佐々木委員、牛尾委員

【議長・委員外議員】笹田議長

【執行部】

(産業経済部) 佐々木産業経済部長、大屋商工労働課長、佐々木農林振興課長、  
永見水産振興課長

(都市建設部) 戸津川都市建設部長

(金城支所) 河内産業建設課長

(弥栄支所) 馬場弥栄支所長、三浦産業建設課長

【事務局】 大下書記

---

## 議題

### 1 執行部報告事項

(1) 三桜酒造跡地における公共活用基本方針策定業務委託報告について

【商工労働課】

(2) ふるさと寄附について

【ふるさと寄附推進室】

(3) 令和5年 浜田漁港水揚げ実績について

【水産振興課】

(4) リフレパークきんたの里の入浴料金の改定について

【金城支所産業建設課】

(5) その他

(配布物) ・漁業別水揚げについて

### 2 その他

### 3 取組課題について (委員間で協議)

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[ 10 時 00 分 開議 ]

○川上委員長

それでは、本年第1回目の産業建設委員会を開始したい。本日出席委員は7名で定足数に達している。レジュメに沿って進める。

1 執行部報告事項

(1) 三桜酒造跡地における公共活用基本方針策定業務委託報告について

○川上委員長

商工労働課長。

○商工労働課長

( 以下、資料を基に説明 )

○川上委員長

委員から質疑があるか。

○佐々木委員

今回特に、前回説明された提言から新しいものはあまりないと思うが、今後のスケジュールということで2月6日の全員協議会では多分同じ内容の説明があり、2月中旬の施政方針でどのような内容が盛り込まれるのか、なかなか予想がつかない。2月下旬にはもう予算にも計上するとのことなので、例えば施設そのものを提案ということではなく、それに関する準備段階上の何かしらの方針や、予算関連、そういう意味合いで捉えて良いのか。

○商工労働課長

今回の委員会でこういった方針かというところまで説明できれば良かったのだが、今本当最終調整とさせていただいているので、2月の中旬の施政方針のほうで提言書等を踏まえて、跡地を活用して今後どう進めていくかというようなことを施政方針等でまとめ、当然そういった整備を進めていくのに当初から申ししていたが、そういった方針等を踏まえて、来年度は実際に跡地にこういった機能であるとか、民間活用といった提言等もいただいているので、こういった形で盛り込んでいけるかといったようなことを、令和6年度の所でも検討していく。その後にもまとめたものをもって具体的な実施に向けて進めていく方向で、今進めさせていただく。そういったことはまた、施政方針等も踏まえてご説明できればと思っている。

○佐々木委員

つまり、まだまだ令和6年度も検討の段階で作業が進められていくと捉えて良いか。

○商工労働課長

はい。この提言書でカフェや広場、憩いのある場といった提言等をいただいているので、今の敷地の中でこういった機能を持たせた活用ができるかといったことを、令和6年度は少なくとも色々ご意見等もいただきながらまとめていきたい。

**○佐々木委員**

提言の中で、今後検討課題として考慮すべき事項として4点上げられている。事業の手法や管理体制のルールづくり、社会実験もすこししながらといったことも考慮すべき事項として上がっており、この辺もじっくり令和6年度に掛けて精査しながら具体的なものを積み上げていくといったイメージか。

**○商工労働課長**

おっしゃるように、今検討課題、考慮すべき事項ということで提言書をいただいているので、こういった内容を実際に踏まえてどこまでできるのか、導入可能なのか、社会実験もしながらという提案をいただいているが、内容次第で本当に社会実験しながらやっていかねばならないのかどうか、実際に踏まえてどうしていくかを検討していく。

**○大谷委員**

提言書の「活用のイメージ」の中に、マルシェ、朝市、フリーマーケット、各種イベントという記載があるが、これらはこれから検討するのだろうとは思いますが、屋外でもできるものなので、極端に言えば建物を造らなくてもできるという発想もあるのだが。そのあたりはどのような捉えをしているか。可能であれば聞かせてほしい。

**○商工労働課長**

おっしゃるように、マルシェ等とかのこういったイベントは屋外でといったイメージで提案等もされているので、これを本当にどうするかはこれから検討していく。ただ、雨天のときもあろうかと思うので、その辺も踏まえてどうなのかといったことは検討の課題の一つであろうという認識である。それらを踏まえて実際にどういう形が良いのか、どう盛り込んでいけば良いのかといったことは、来年度に検討していければと考えている。

**○大谷委員**

2月の施政方針の中で方向性が出るようだが、しっかりとした合意形成をしていくことが大事だろう。そのためにはある程度の市民参加という事柄は必要であろうと考えるのだが。市民参加に向けての何か考えがあれば参考にしたい。

**○商工労働課長**

おっしゃるように、こういった体制でやるか、こういった形で利用していただけるかといった観点等からも、市民等からのご意見等も必要だと思っているので、ご意見等も踏まえながら進めていきたい。

**○大谷委員**

意見等を踏まえるということであれば、意見を聴取するような会合の想定もあり得るかもしれないということによろしいか。

**○商工労働課長**

はい、今はそのように考えている。

**○大谷委員**

あと、この報告書の中にもあるように、周辺には様々な施設がある。関連性を捉え

た提言に踏まえて、跡地の活用をするということになっているのだが、駅からこの跡地に向けての通りや、複合した周辺の整備ということも想定されているのか。

#### ○商工労働課長

当然近隣の施設等も踏まえて、こういった機能を持たせていくかということとは検討課題としている。提言書にあるように三桜酒造跡地含めた駅周辺エリア等の周辺施設等も踏まえて、提言書の中であるまちづくり構想的なエリアとしての機能ということも一緒に考えていきたい。

#### ○大谷委員

あと建物を建てる場合、今色々な意味で国際的な基準も取り入れていく想定があると思う。カーボンニュートラルも含めてだと思うが、そうした施設の維持管理に向けての考え方みたいなものは。仮に建物を想定したときには、そこも踏まえて整備方針が出てくるという想定もあろうと思うがいかがか。

#### ○商工労働課長

建物をそこに設置するかどうかは、まだ現時点で決まってないので、こういった機能が必要かを考えていくことにしているが、当然ながらその維持管理等についても今後のことを踏まえて必要な検討課題だと思っているので、提言書等にもあるように、運営管理、運営などの体制ルールづくり、そういったものを踏まえた形で検討は進めていきたい。

#### ○村木委員

この報告書の概要書の見方を確認したい。4ページ、市民アンケート意向調査の「具体的な利用シーン」で、必要と必要でないというのがある。見てのとおり、小さい子ども連れがゆっくり云々というシーンは必要だが、神楽に関する道具や観覧については必要でないという意見が多かったという見方でよろしいか。

#### ○商工労働課長

アンケートについては以前議会等でも報告した中で説明等もさせていただいたが、あくまでも今の三桜酒造跡地のところでこういった利用シーンというか、必要と思われるもの必要でないと思われるものといった聞き方をさせてもらったので、ああいった立地等を見た場合、必要と回答が多かったものの中で、小さい子ども連れでもゆっくりお茶・食事が楽しめる場所があったほうが良いというご意見が多かった。ただ、ああいった場所に限定だと思うが、神楽に関する資料等は必要ではないのではといったご意見が多かったと見ていただければ。

#### ○村木委員

6ページの「考慮すべき事項」について4点についてもお聞きしたかったのだが、佐々木委員から聞かれたので、これは理解した。

最後に1点。実は先日、一部の議員で酒蔵の利活用について淡路島へ視察に行った。商業ゾーンと文教ゾーンの接合点であるということで、にぎわい創出と文化教育に資する好条件である。そこにある建物自体もやはり、好条件の中のやはりシンボリックなものであるならば、やはりこの酒蔵を活用できないかという思いがある。報告書には

もちろんうたってはないし、検討委員会においても一部意見は出たが、なかなかそれも取り上げられないままに来ているというのが現状かと思っている。この酒蔵の解体をするのは地権者ということになれば行政は関わってないかもしれないが、もし出せる情報があれば教えてもらいたい。

#### ○商工労働課長

この建物を残す・残さないの議論は検討委員会の中でもあったし、議員からもご意見等をいただいていた。ただこれを進めていくに当たっては、当初から議会等にも説明して了承いただいているが、更地にした土地を引き受けて跡地を検討するというところにさせてもらっているし、地権者代表ともそういった合意検討があることを踏まえてお話等もさせてもらったが、地権者も建物を残そうとは思っておられないとのことなので、検討委員会でもそう説明し、このように提言書をまとめていただいたので、それに従って進めていきたい。

解体については、先ほど言ったように地権者代表側で進められるが、今は跡地に親族の方が住まわれているので、転居が済み次第土地の契約等も進めて、後に解体を進められると伺っている。

#### ○田畑副委員長

2月6日の全員協議会で今日と同じようなことを全議員に説明されるのだろう。その時点ではもうおおむね市長の、令和6年度の施政方針が確定していないとなかなか議事に報告できないと思うのだが。それから2週間後くらいには3月定例会議が始まるので、そのときにはもう予算の関係も全部上程しないと、つじつまが合わないと思う。何の予算をどのように考えておられるのか伺う。

#### ○商工労働課長

予算については先ほど言ったように、この提言書を踏まえて今後どういった活用に向けた内容としていくかを詰めていく予算を考えている。具体的な内容というのは今後示させていただきたいが、来年度にどういったものをやる、どういった管理の体制等でやるといったことをご意見いただきながら決めて、大体の整備イメージを来年度の中でまとめていきたい。それに関係する皆のご意見等を聞いていくための予算など、委託に関する予算等を上げさせていただきたいと考えている。

#### ○田畑副委員長

それはどのように活用するかある程度骨組みが決まっていないと、予算と、議会との関係がうまく合わないだろう。市長は、令和6年度は浜田市政を運営するということが公表されるのだから、その時点で今後のスケジュールにしても、提言書にしても、内容があまりにも薄すぎる気がする。そうするとまた、色々な意味で予算が変わってくるなど、その都度議会に掛けないとできないような状況ではないのかと思うがいかがか。

#### ○商工労働課長

先ほど申したように、今その方針自体の最終調整をさせていただいているので、当然3月定例会議に上程することを見込んで予算等がある程度固めようとしている中で、

方針等に最終的に合わないようなことがあってはいけないので、今の時点では詳細等は控えさせていただいているが、方針等も含めてどのように進めていくかは、もう少し後のところでご説明したい。

**○田畑副委員長**

これだけ大事な事業を、1月26日、今日産業建設委員会をやって、2月6日には全員協議会をやって、施政方針も固めるのだと。固めたときには予算も方針も、この事業そのものが固まっていないと、またうやむやな状態で議会に上がってくるような気がする。そうすると、あまり良い結果は出ないような気がするが、それで良いのか。

**○商工労働課長**

私の説明が悪かったのだと思うが、施政方針等と併せて予算も固まった内容で示させていただくので、当然その辺をきっちり連携させた形でご説明できると思う。

**○田畑副委員長**

議員の理解得られるような説明が本当にできるのか。

**○商工労働課長**

理解していただけるように準備等はしていきたい。

**○大谷委員**

田畑副委員長が心配されるようなことを私も心配する。施政方針が出て、予算も出てくると、あとは議会側としてはそれを可とするか否とするかしか判断のしようがない。その間を取るといった話はしにくいので、こういう場の中で、議会側のニュアンスというものを聞き取られるべきだと思うのだがそうしたことがなく、ただ単に後で方針は出すでは論議にならないように思うがいかがか。

**○産業経済部長**

おっしゃることは十分承知している。課長が申し上げたとおり、来年度予算については担当部担当課としてはある程度の案を立てて、来年度この三桜酒造跡地に関するこの提言を基に、どういったものを造るか、基本計画的なものを策定する、コンサルなども必要かもしれない、そういった費用や検討会議の費用など、諸々の費用を上げる準備をしている。

ただ、今度施政方針の中で市長の思いが述べられるので、それと合うような調整をしている。詳しくは今のところ申し上げられないが、その中で市長の思いがはっきりされると思うので、それに向けて色々調整しながら準備をしている。担当課としてはある程度の案を持って準備を進めている。

**○大谷委員**

出てきた後に、やり取りする時間的余裕があまりないので、そんな中で可否を判断するとなると、なかなかちょっと大変な判断をしなければいけない。誤った判断も当然いけないし、判断してしまうとなかなか元に戻れないので、そのあたりうまいこと市民の理解を得る方向で物事が円滑に進むように考えながら提案をしていただきたい。でないと余分な労力をお互いに掛けることになるし、市民の方々にも余分な心配をお掛けすることになるので、段取りは丁寧に行っていただきたいと心配をしているが、

そのあたりいかがか。

#### ○産業経済部長

この委員会を受けて、今度の全員協議会で説明をさせていただくが、その中である程度の方向性というか、ことを説明するように努力をしていきたい。

#### ○牛尾委員

当初ここの土地を公社が取得するとのことで、色々皆から聞かれて、大丈夫かと言われたのだが、とりあえず取得してアンダーコントロールして、そこの土地がどうあるべきかを考えていくのだと市民の方には言っている。だが今日最終的にこう出てみると、全て公共関係で、公共分館で整備をするという一定の方向で出ているではないか。よく考えなければいけないのは、すぐ近くに今度はNTTの官舎も買う。マルシェ云々言うのなら農協のきんさい市場がある。たった4回くらいであそこの将来展望がまとまるようなレベルではないと思う。まして会長が林修二副学長。林先生は専門ではない。やっぱり、これであの辺の絵が描けるのなら逆にすごい。このままで行くと立ち往生するのではと、見た瞬間に思う。やはり人口減少社会の中で将来的に10年、20年、30年後のあの一带のエリアの全体の絵を描いてから、その中で三桜がどうあるべきだという議論をしないと、ここのエリアだけ色々言ったところで始まらないような気がする。

それともう1点、僕の聞き間違いかもしれないが、全て公共空間にするといったようなニュアンスではなく、処分する必要があるらば処分するのだというようなニュアンスもあったのだが、そういう検討はこの中で全くされてない。すべてを使ってということ。これが表へ出たときに市民の方には違和感があるんじゃないかなと思う。もう少し丁寧な作業をしないと、これでどのくらいの規模のパッケージが出てくるかわからないが、相当な冒険ではないか。先ほどから皆が言われているように、もうやる前から討ち死にするような計画ではないだろうか心配する。ここの時点できちんと厳しく言うとおかないと、行政の仕事は走り出したら止まらない。だからもう1回これは考えないと、こんな計画で行けるのかと。あの辺の一带の全体計画、グランドデザインを書いてから、その中で三桜跡地はこうで、NTTの官舎はこうだと、そういう手順でないと。神楽館が欲しいとか何とかいうようなことでは、大変なことになるのではないかと現状で思っている。全員協議会でどういう説明をされるかわからないが、このままでは非常に危うい。税金を使ってやるような事業には至らないのではないかと気がする。

#### ○佐々木委員

もう1回確認なのだが、今回今後当初予算で提案される予算の中身というのは、どういったものを造るといような予算ではなくて、何を造るのか今後協議するための予算という捉え方で良いか。

#### ○商工労働課長

はい、どういった機能がそこに必要か、提言等を踏まえて、まずは整備の基本計画的なものを作っていくイメージである。

### ○佐々木委員

なかなか、まだあまり言えないままに答弁されるので、なかなか難しい感覚を受けるのだが、何かしらでも具体的な建物を想定しながら協議が進められていくような感覚を持った。牛尾委員も色々言われたが、この間一緒に徳島的那賀町へ議会改革推進特別委員会で行ったときに、そこの議会もやっぱり今後の施設のあり方というか、新たに建てるものについては、議会側としっかり協議をした。にわかに出て次の議会に掛けて協議をして、1年くらい掛けて決めていく、そういう流れが今当たり前だと思う。だから本当に建物を提案されるについては、いきなり当初予算ではとても。協議も何もないままに進めていくので、しっかりその辺は議会側や市民との協議、新しい施設を造るための協議はしっかりして建てる時代なので、それをしっかり踏まえた上で、今後の色々な提案をしていただきたいと思いますと思うがいかがか。

### ○商工労働課長

当然そのように思っているのですが、今はこういった提言書を踏まえて、例えばこういったものを建てなければいけない、必要があるのではないかとということをもとめた後に、当然議会にも、こういうふうを考えて、こういうものを造りたいといったようなことについてしっかり議論をしていただき、それを先に認められて以降、建物等であれば建設をしていくということ考えている。いきなり、これを建てるがどうかという出し方は当然しないように進めていこうと思っている。

### ○佐々木委員

言い方が極端過ぎたかもしれないが、突然出して、それに対して良いか悪いかというのは当然できるわけがないので、こういうものを造りたいという議論を、1年、2年、事業を掛けて一緒に造り上げていくべきだと言っている。過去にもそんなことはなかったかもしれないが、この際、今の時代、しっかりその辺の新しい施設建設のあり方、手法というのをしっかり踏まえられた上で、ぜひ今後の検討をお願いしたい。

### ○産業経済部長

来年度の予算なのだが、来年度はあくまでもこの検討委員会の提言を基に、三桜周辺跡地にどういった機能を持たせるか、どういったことをするかということをして1年掛けてやるための予算である。来年度にいきなり箱物の建設費の予算が出るということではないので、来年1年掛けて基本計画を立てる予算を上程することにご理解をいただきたい。

### ○佐々木委員

今ので分かった。最初に言った、今度の予算についてはどんな建物を造るとかいうものではなくて、何を造るかを協議するための予算ということで良いか。

### ○産業経済部長

はい。

### ○小川委員

今の答弁で大体分かったが、恐らくどういう活用、どういう建物を造っていくかというときに併せて検討されているのが、多分、事業使用も併せて検討されていると思



う。恐らくこういう趣旨の公共施設についてはこういう手法が今は妥当なのではないかということで、多分国が示したような事例集みたいなのがあると思うのだが、今の分で言うと行政のあるような施設ということになると、事業手法について設計段階から民間に任せる手法も最近では出てきているので、これについても現段階で併せて検討されていると思う。その状況、もし報告できる場所があれば報告をお願いしたい。

**○商工労働課長**

現段階で具体的にというと、提言書にあるPPPとかPFI事業という提言もあったが、当然そういうった提言等も受けて、どういった機能を持たせるかと、あとその機能等民間等に任せて、例えば市内の事業者でもそういったことができるのかといったような検討も併せて、来年度に整備計画的なものをまとめていく中で検討している。市の施設にしてから業務委託というやり方もあるだろうし、そこに例えば箱物等がある場合には民間の資金等で投資していただく手法等も、PFI・PPP事業というやり方が国等で示されているので、その中でどういった機能があってどういった手法を使えば良いのかといったことも併せて検討していきたいとは思っている。

**○小川委員**

その件も含めて、これから1年の間に併せて検討されていくということだと思うのだが。恐らくこれから新しい建物を造る場合には、従来のように個別の契約を結んだりしながら進めていく手法ではなく、こういった民間手法を取り入れたような形での手法が今の主流になりつつあると思うので、その辺についても今後検討をお願いしたい。

**○川上委員長**

ほかにあるか。なかったら副委員長、進行を代わってほしい。

**○田畑副委員長**

進行を交代する。

**○川上委員長**

私からは1点。令和6年度の予算については検討用資料を作るための1年間だと言われていたので、心配するのは、ある程度検討が進んだ時点で前倒しで物を進めていくことがこれまでもあったことである。1年間はしっかり使う、なおかつ令和7年度に初めて物が見えてくるとなるかどうかだけ確認したい。

**○商工労働課長**

来年度については1年間しっかり整備計画をまとめていこうと考えている。

**○田畑副委員長**

進行を交代する。

**○川上委員長**

ほかに質疑はあるか、ないか。

**○笹田議長**

先ほど、この委員会でしていた質疑を全員協議会でされると言われたが、この委員

会とは違うことが出てくるのか。委員会はすごく大事だと思っているので、委員会で協議してないものを全員協議会で言うのは、委員会軽視につながると感じるのだが、そのあたりはどうか。

**○産業経済部長**

基本的には、この資料に基づいて説明をする。ただ、色々意見があったので、その辺を踏まえて、市長の施政方針のこともあるので、その辺については委員長副委員長なり、議長副議長と相談させていただきたいと思う。

**○川上委員長**

今日協議したこと以外のことが出てくるのは絶対駄目である。今日以外のことが出るようであれば、また一からやり直そう。よろしいか。

**○産業経済部長**

はい、基本的にはこの三桜酒造跡地の報告についてを全員協議会で報告させていただく。

**○川上委員長**

今日の議事以降のことは出ないとはっきり言っていただければ、私どもは了解する。あれでももしかして出ますなどという話をするのはやめてもらいたい。今日協議したこと以外は出ないと、明確にお答えいただければここで終わる。その点いかがか。

**○産業経済部長**

商工労働課長から報告をさせていただいたことについて全員協議会で報告する。

**○川上委員長**

はい、理解した。では全員協議会においては今日協議したことについての内容で説明いただく、それ以外はあり得ないということで理解した。皆さんよろしいか。

**○大谷委員**

これまでの経緯は理解したわけだが、もしもこれ以外のものを付記する形で全員協議会に出すということであれば、委員会を招集すれば良いだけのことのように思うが。

**○川上委員長**

今大谷委員が言われたように、確かに、もちろんこれ以外のことを付記するのであれば再度委員会を開いて協議した後、全員協議会へ出していただく。ただし、全員協議会の前に、直前に委員会を開くなどにはあり得ない。その点についてはご理解いただきたい。産業経済部長よろしいか。

**○産業経済部長**

承知した。そのように対応したい。

**○川上委員長**

大谷委員良いか。皆さんよろしいか。

( 「はい」という声あり )

**(2) ふるさと寄附について**

**○川上委員長**

執行部から説明をお願いする。産業経済部長。

○産業経済部長

( 以下、資料を基に説明 )

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○牛尾委員

今年度は15億円の目標を打ち立てられて非常に評価しているが、実態とは大きな乖離がある。2月、3月の見込みはどのくらいを考えておられるか。

○産業経済部長

牛尾委員には一般質問でも、年末までに13億5千万円を目指すと答弁したが、実態は非常に厳しく、年末時点で10億円に届かない状況だった。今の状況からすると15億円達成は厳しいのだが、現時点で昨年を上回る12億5千万円程度が現実的な目標ではないかと考えて頑張っているが、あくまでも15億円に少しでも近づくよう、残り2か月ちょっとあるので寄附を伸ばすよう努力していきたい。

○牛尾委員

新たに加わった三越・伊勢丹系列など、新規の数字はどうなのか。ゼロベースより当然上乘せがあると思うが、それはどの程度を見込んでおられるか。

○産業経済部長

三越・伊勢丹の新しいポータルサイトが加わり、直近の状況だと114万円くらいの寄附があった。各ポータルサイトの割合で言うと、0.11%。各ポータルサイトの状況を聞くと、やはり全国的に増えているところと減っているところが極端、約70%の自治体が減っており、30%は増えている。寄附額全体は昨年を上回っている中、両極端な状況にあると聞いている。

○牛尾委員

シフトプラスに去年の4月から変わって、非常にノウハウがあるとのことで期待していたのだが、なかなか現状では伸びてない。市長もどこかで発言していたが、浜田市は肉関係が弱いということで、松永さん等々にも要請されているのだろうが、実態はどうなのか。浜田市の肉関係のボリュームはまだまだ少ないのか。

○産業経済部長

水産品が約7割を占めている。特産品寄附額ランキングの1番にノドグロ一夜干しが載っているが、これは寄附額2万円である。もともと1万5千円だったのが2万円に上がっている。今ノドグロの水揚げが対前年比56トンくらい減っている。ただ、水揚げ金額は単価上昇に伴って上がっている。当市人気のノドグロの金額が減ったことが、ふるさと寄附額に大きく影響した。このように水産品が減れば、うちの寄附額に影響するので、市長が言うように水産品以外の商品のブラッシュアップや新商品開発を進めている。しかし今のところはその辺の割合が低い状況である。

○大谷委員

ノドグロ関係が上位を占めているとのことだが、収益増に向けて頑張っておられる

とは思っているが、商品開発については言っておられたと思う。新たな開発商品の現状についてはどういう状況か。

**○産業経済部長**

新商品開発については、昨年企業版ふるさと納税でいただいた寄附を基に、新商品開発に向けての補助金制度を設けた。10月中旬からの申込みで今6件くらいが取り組んでいる。また先週だったか、トラストバンクと新商品開発に関する協定を結んだ。そこではトラストバンクが持っている専門家が協定していた浜田市の各事業者に対して無料で新商品開発やアドバイスをすることになっている。それに基づいて作った商品をポータルサイトに出すようにしている。今、新商品開発に向けて色々な取組をしている。

**○大谷委員**

地元で生産されているものの中に、地元の認知は低いかもしれないが全国的には認知されつつあるような商品もあるように思う。この前も東京の味噌汁専門店店主が朝の情報番組の中で、弥栄味噌について「全国を回ったがこれが一番」だと語っていた。そうしたことも捉まえながら、しっかり発信していくことが大事かと思う。発信について現状その後どうなのか。

**○産業経済部長**

今、表に出てない、浜田市の中でも非常に良い商品があるので、ふるさと寄附推進室、産業経済部長には販路開拓と産業振興課もあるので、浜田市の色々な商品をPRするように、産業経済部長とも協力しながら進めているので、委員が言われた今は表に出ない商品の開発、PRについても引き続き努力していきたい。

**○田畑副委員長**

進行を交代する。

**○川上委員長**

私から二つ。一つ目は、現在震災の関係で各地域から能登へのふるさと寄附が増えているように聞いているが、浜田市にはその影響が出ているか。

**○産業経済部長**

影響とは、能登に行って浜田市が減っているということか。その辺はまだ調べてないが。1月の直近の状況を見ると、やはり対前年を下回っているので、その辺の影響もあるのではないかと認識している。

**○川上委員長**

各地で能登の関係で、代替でふるさと寄附を受け付ける行為をされている自治体がたくさんあると聞いている。もちろん返礼品なしのふるさと寄附という形になっているが、浜田市はそういうことをする考えはないか。

**○産業経済部長**

能登関係の自治体の代わりに浜田市がその自治体の寄附を受けるとのことか。今、ふるさと寄附においてはその辺のところは考えていない。ただ、浜田市としても義援金を色々なところで集めているし、浜田市職員も集めて渡そうとしている。そういっ

た義援金の関係で支援をしたいとは考えているが、今のところふるさと寄附を能登の代わりに集めるといったことは考えてない。

○川上委員長

同じ日本海側に生活する市としてももう少し広く見ていただき、そういうことの検討も必要ではないかと考えるので、全然考えてもいなかったのではなくそういう方向性を見せること自体も必要ではないかと思うので、できれば今後検討してほしい。

○田畑副委員長

進行を交代する。

( 「なし」という声あり )

(3) 令和5年 浜田漁港水揚げ実績について

○川上委員長

執行部から説明をお願いします。

○水産振興課長

( 以下、資料を基に説明 )

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

( 「なし」という声あり )

(4) リフレパークきんたの里の入浴料金の改定について

○川上委員長

執行部から説明をお願いします。

○金城支所産業建設課長

( 以下、資料を基に説明 )

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○大谷委員

料金設定については出雲など遠くの施設関係では、平日と休日の設定を変えているところがある。出雲部のある施設については、休日800円というのがある。その代わり比率を下げているのだが。あとはシニア料金など年代に応じて分けている例もある。今後はそうした動きを捉えた対応も必要ではないかと思うが、今後に向けていかが思われているか、認識を聞かせてほしい。

○金城支所産業建設課長

ご指摘のように県内・県外入浴施設、特に公共施設においては平日と休日を分けていたり、市民料金を設定していたりするわけだが、このあたりのことは近隣入浴施設である保養センターについても同様であり、そういった設定をすべきかどうか協議しながら、最終的には引き続き一律料金ということになっているのだが、協議内には当然その話が出ている。市民の利用者割合、また浜田市は独自に高齢者に入湯券を配っ

ていることも踏まえながら、市民には回数券で対応していただくとし引き続き一律料金にしている。

話がそれるが、保養センターに新しく作ろうとしている外湯についても同じような検討をしている。ご指摘のように、どのような料金設定がベストかというところを市としても検討しているのだが、この施設については指定管理ということでこの料金幅で提案を受け、承認する形を取っている。協議には出たが最終的には指定管理者の要望を受け入れて一律設定のままとさせてもらっている。

#### ○川上委員長

ほかにあるか。

( 「なし」という声あり )

#### (5) その他

##### (配布物)・漁業別水揚げについて

#### ○川上委員長

漁業別水揚げについては資料配布のみとなっているため確認してほしい。同時に先ほどの3番でかなり説明を受けているので、よろしく願います。

その他、執行部から何かあるか。

#### ○都市建設部長

すくすく跡地の公園整備について、口頭にて報告させていただく。これについては予算と補正で承認いただいているが、先般1月13日土曜日に外ノ浦町、松原町、殿町の方を対象に地元説明会を開催している。出席された方は33名で、おおむね整備についてのご了解はいただいたのだが、3点ほど要望をいただいている。

1点目は駐車場の整備について。計画では公園の規模等を考えて駐車場は設けない方向で考えていたが、複数の方から、現在でも近くの施設スマイルにはほとんど駐車場がなく、家の前に駐車されて迷惑をしているとのことだった。また今後公園利用者が駐車されることがあるので非常に困るとの意見をいただいた。その後内部でも検討し、意見の状況があることが一番だが、地域で公園を利用した催しを行われる場合や、非常時の避難場所といった場合にも駐車が必要であろうということで、駐車場は必要と考えた。計画している公園の広さはそのまま、公園に隣接する区画約160平米を5、6台分の駐車場として整備をする方向で進めていきたいと考えている。

2点目、3点目は令和8年に浜田川の下流に整備予定としている、下水道処理場の横に計画するように要望をいただいております、広場まで自転車で行くということで子どもが自転車を止める駐輪場を設置してもらいたいということ。それから、松原湾は県外から釣り客の方も来られたりして、車の交通量もあるとのこと、広場へ行くまでの道路にカーブミラーや照明等の安全施設を検討して、安心して下水道処理場の横にできる広場に行けるよう配慮いただきたいとのご要望をいただいた。下水道処理場横に造る広場については今後検討するので、要望に沿えるよう進めていきたい。

公園のフェンス、補正予算のときには高さ3メートルと提案したが、地域の方々と

相談する中で少し圧迫するということもあり、高さは1.5メートルに下げようと考えたい。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○大谷委員

今の状況に伴って予算面でどのような変化があるか。

○都市建設部長

駐車場整備に当たっては確かに費用が掛かる。今は200万円程度を見込んでいるが、先ほど申し上げたとおりフェンスを3メートルから1.5メートルに下げるため、その分で200万円程度の予算は賄えるかということで、事業費は現在想定している額で何とかやりくりしていきたい。

○大谷委員

補正予算で出てきた金額は丸々使う予定か。

○都市建設部長

今の駐車場整備も先般の補正予算で承認いただいた額の中で、併せて整備したい。

○川上委員長

ほかにあるか。弥栄支所産業建設課長。

○弥栄支所産業建設課長

私からは弥栄肉用牛改良流通センターの施設運営について報告する。当センターについては令和4年7月にJ A島根、県全域肥育事業のほうから撤退するとの報道があった。その後、委託先、関係事業者を含めてその後の施設運営について検討を重ねてきた。このたび1月22日にJ A石見中央地区本部から、新たな体制によって業務受諾を継続したいとの報告があった。ただし令和9年度末までとのことである。施設概要は資料のとおりだが、建築は平成7年となっている。公共施設再配置計画上の耐用年数でいくと令和18年までとなっている。施設詳細は備考に書いてある。今後については、J Aいわみ中央地区本部、地域の担い手農家、今は二つの畜産農家が連携している。この運営体制により、これまで肥育ということだったが、繁殖経営を中心とした、担い手育成の面も踏まえ、肉用牛の生産拠点にする形となっている。体制のイメージとしては最後に付けているが、J Aと浜田の畜産業者、それから管内の江津畜産事業者と連携して今後進めていく。

○川上委員長

委員から質疑があるか。なければ進行を交代してほしい。

○田畑副委員長

川上委員長。

○川上委員長

浜田市から委託してなおかつ連携となってくると、もしかして費用負担が出てくるのか。

○弥栄支所産業建設課長

市の負担はない形で契約している。

○川上委員長

J A島根ではなく担い手農家となってくると、担い手農家からは借地、または利用料は上がってくるのか。

○弥栄支所産業建設課長

施設を使われる電気料や水道料については、実費部分は当然 J Aが入られる担い手農家から徴収されると聞いている。

○川上委員長

今後7年間使われたときに、その施設が破損や老朽化することに関しては、どちらが持つ話になるのか。

○弥栄支所産業建設課長

修繕等については基本的には J Aにお願いしている。大きい部分は双方協議となるが、今のところのこの施設は耐用年数が来れば廃止の方針のため、大きな修繕は考えてない。

○川上委員長

つまり市からは一切費用が出ないと考えてよいか。

○弥栄支所産業建設課長

今までもそういう形で進めてきているが、今後もそういう形になると思っている。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

ではここで執行部から、その他含めた報告事項について2月6日の全員協議会に提出し、説明すべきものを決定するために、まず執行部の意向を確認したい。

○商工労働課長

(1)の1件を報告させていただきたい。

○川上委員長

執行部から1件の申し出があった。各委員、これで良いか。

( 「異議なし」という声あり )

ではそのように願います。

## 2 その他

○川上委員長

執行部から何かあるか。

( 「なし」という声あり )

委員から何かあるか。

( 「なし」という声あり )

ではここで執行部は退席されて構わない。1時間を超えたのでただいまから暫時休憩とする。



( 執行部退席 )

[ 11時 18分 休憩 ]

[ 11時 24分 再開 ]

## ○川上委員長

委員会を再開する。

### 3 取組課題について（委員間で協議）

#### ○川上委員長

配信された資料を見てほしい。これは過去2年間の意見交換会で出た問題や課題について、一次産業、二次産業、三次産業の問題点や課題をコンパクトにしたものであり、それぞれ共通の問題・課題を取り出している。また2ページの赤枠でくくっているのは、他部署との連携が考えられるものを抜き出している。これについては以前私が報告したように連携が必要だろう、プロジェクトチームを組んでもやってもらいたいと言っているものを抜き出したものである。

1ページ目の最初に目的が書いてあるが、浜田市の産業ではやはり一次産業が重要であり、その諸課題を認識しておかないことには解決につながる話でもないのこのようになっている。浜田市の産業を衰退させないためには、現場が何に困り、何を望んでいるかを知ることが非常に大事であり、そのことに関連してたくさんの意見交換をしている。これまで委員会で聞き取りをした事業者は、個人事業主や小規模事業者で一生懸命頑張っている。同時に、地域のために尽くしておられる。ここに上がっている問題や課題は、たくさんある中での一部であると思うが、小さな声を拾うことが大事だと思っているので、皆と一緒に今後の浜田市の産業の底上げを行うために方策を考えてもらいたい。

この取組課題を見て、1ページ目は意見交換会の内容、2ページ目左上の他部署との連携については先ほど言った部分である。同時に右側に共通課題が二つ書いてある。この二つが、農業・漁業・林業関係が上、下が観光・商工関係である。右側真ん中に、はまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）で出た提案からということで三つばかり、また所管事務調査から三つ上げている。たくさんあるが、この中から1、2点についてはぜひ検討しなければならないし、これらの問題・課題は今後の委員会で少しずつでも考えていかなければならないと考えている。

本日はまず、取り組むべきものが何かをこの中から見つけてもらいたい。できれば全てを総括する形で取組課題を決めてもらえばうれしい。他部署との連携の中、共通問題・課題の中、三つの中から大きく拾い出してほしい。いくらか思いがあるだろうか。

#### ○牛尾委員

当面の課題で言えば、一番直近に発生するのがゆうひパーク浜田の無償貸与問題だと思う。あれだけコストを掛けて買い上げて無償貸与というのはやはり。税金で買ったのだから、明らかに利益が出ると見込まれる施設は。多分プロポーザルでされるのだろうが、売上げの何パーセントかを市へ入れるような形で条件を付すべきではないかと感じる。これが一番急ぐのではないかと考えている。

それと、ゼロゼロ融資の関係で言えば、3割か4割くらいの方が大変だということ。借換え、もしくは延期などをやっておられる。その辺の実態も調べる必要があるのではと思う。

### ○川上委員長

これまでもゆうひパーク浜田については、調査しながら色々なことを言ってきた。今回牛尾委員が言われたように、今後の無償貸与について、プロポーザルをどのようにされるかに関しては、最後に話そうと思ったのだが、今回は今までの視察について総括しようと考えているのだが、その中に道の駅、三矢の里あきたかたの中の最後に書いてあるように、自主運営ができる体制を期待する。同時に、牛尾委員が言われたように、自主運営の中から浜田市に対してバックできるようにしていただくということも、検討課題の一つと考える。

ゆうひパーク浜田の無償貸与について、またプロポーザルについて、必要であれば当委員会でプロポーザルの一部分でも考えたらどうかと考える。牛尾委員、そういう形で良いか。

### ○牛尾委員

委員長が言われたようにこの委員会として視察もしているのだから、本来こうあるべきである、望ましいということをもとめて、例えば市長に対して建議を出したり、委員会の総括として提言したりすることが必要ではないかと思う。

### ○川上委員長

承知した。では無償貸与に関わったプロポーザルについて、当委員会でもプロポーザルの内容等について検討していきたいと思うが、それで良いか。

( 「異議なし」という声あり )

はい、一つ目。それから牛尾委員が言われたが、ゼロゼロ融資は確かにこの前問題が出ていた。今回の共通問題・課題には出てないが、ゼロゼロ融資は非常に苦勞すると思う。これについては私どもで支援するのはなかなか難しい。しかし視野に置くことが必要だと思う。したがって牛尾委員、これについては視野に入れて見ていくという方向でどうだろうか。

### ○牛尾委員

この関係で言えば、倒産が相当出ているのだろうと思う。逆に言えば、ゼロゼロ融資の実態については会議所を呼んで聞き取り調査をするのも一つの考え方だし、それによって市としてどういう支援ができるか、もしあるとすれば会議所・商工会と意見交換会をするのが一つの考え方ではないかと。会議所や商工会を飛び越えて動くことにはならないと思うので、実態を聞く中で知恵が出るのではと考えている。

### ○川上委員長

理解するところである。ほかに皆から何かあるか。今地域で困っている方への対応として、ゼロゼロ融資について商工会等の意見を聞きながら、議会として対応できることを模索していこうという話である。これについてはいかがか。

### ○佐々木委員

前期の中で聞き取られたものをまとめていただき、非常に分かりやすく拝見した。議論の場になかったので強弱のイメージがなかなか分からなかった。ゼロゼロ融資については、全国的に大きな問題なので、市内のそういった方々に少しでも何かしらの支援ができるとすれば、今言われたような、会議所や商工会を通して対策のあり方を探る中で、何かしら見いだせれば良い。

### ○川上委員長

前期で話し合いをした中では、地元の小さな業者は大手が入った関係でどうしても廃業していく。そうすると大手は利益がなくなった時点で引き上げてしまった場合、地元に残らなくなる。商店がなくなる。このことは少し考えなければいけないのではないかという声も出ていた。私が一番心配するのはこの部分かと思う。それについてどのように扱ったら良いかを考えてもらえればと思っていたのだが。課題として扱うには重い部分かと思うが、今後の活動で少しでもこの部分に目を向けていただければと考える。皆はいかがだろうか。

### ○牛尾委員

地域の小売店の激減というのは、その地域で生活ができなくなる。本当に切実で迫った問題。これは全市的にあると思う。ではどうしたら良いのか、移動販売が回れば良いという問題ではない。ただ、放置してはいけないので何らかの知恵を出す。取り組んで結果は出ないかもしれないが、正面からぶつかっていかないと。市民の要求に僕らは応える必要があると思うが、現状は応えられてないので、それはやはり取り組むべきではないかと思う。

### ○川上委員長

牛尾委員が言われたように、地域の小売店が激減というかほとんどなくなっている。以前も話したことがあるが。これについて我々が取り組むのは難しい問題かと思うが、何もせず放っておくことは産業建設委員会として情けない。これについても少し検討する必要があると思う。

今三つ上がってきた。ゆうひパーク浜田の問題、ゼロゼロ融資の関係、地域小売店の問題。たくさんあったら難しいので、この三つをこれから絞っていきたい。どうするかは正副委員長にお任せいただいて、やっていききたい。それで良いか。

### ○大谷委員

丁寧に集約されて、非常に良いものがまとめられて分かりやすく感じている。その中に何か所か、インフラが古い、悪いという項目を見つけることができる。インフラはどの事業者にとってもベースになる事柄だと思うが、どういう点を改善しなければならないのか、改善することによって流れが良くなり経済にも良い効果になるのだら

うと思うが、このあたりは何が問題でどうすれば良いのか。そこにお金を掛けて良くすれば良くなるのであれば、すべき事柄になるとも思ったのだが。このあたりはどうだろうか。

### ○川上委員長

インフラについては確かに、農業も漁業も林業も、観光業、商工業全て、インフラが古いまま使っている。つまり新規に投資ができないということかと思う。新規投入してその返済に追われたまま事業が衰退していくのも非常に嫌なので、この部分についてもヒアリングする必要があるだろうか。どういう形にしたら良いか。市が補助しても、補助に対応できない可能性がある。同時にその他金融機関から借りても、地域に賄えるだけの需要がないことも考えられる。どういう形でどのようにインフラ対応をすれば良いのか。それが地域のためになるかも聞いてみるのも良い。あくまで聞くだけ。委員会としてどうしたら良いかは、その後だと思う。

どうすれば良いか。各産業関係、執行部の各箇所に調査を依頼しようか。どうだろうか。皆良いか。

( 「はい」という声あり )

ではインフラに関して、事務事業調査という形になるかと思うが、執行部に対して調査を申入れしたい。

では、取組課題としては三つ。同じことだが事務事業調査を依頼する点が一つで良いか。

### ○小川委員

事務事業調査も含めてということであれば、今日上がっているテーマとは趣旨が違うのだが、今の時代、IT産業、企業誘致についても製造業とITが進められている部分もあるが、現状として雇用の受け皿ということもあるし、浜田市のネット環境も含めて、今の時代の先端を行っているIT産業が、浜田地域においてどのくらいの現状があるか、個人的にも興味がある。世界を相手にしていくような産業になるだろうと言われている部分が、現状浜田の中ではどうなっているかを含めて、検討すべき課題ではないかと感じていた。取組課題とは違う趣旨だとは思いますが、そういうことについての現状把握も当委員会内で必要ではないかと感じている。

### ○川上委員長

次の委員会の際に所管事務調査をお願いする部分があると思うので、そのときに先ほどのインフラとIT関係について、ぜひ声を出してもらい、事務事業調査の中でやっていきたいと思うので、よろしくお願いします。以上、取組課題については3点でお願いします。

最後に、昨年行った安芸高田市への行政視察レポートにおいて、委員会としての総括が間に合っていなかった。視察報告はしたが、総括をしてなかったので総括について、正副委員長で作っている。神楽門前湯治村について、道の駅 三矢の里あきたかたについての二つについて総括している。

神楽門前湯治村については、委員会としては、浜田市で計画されていると思われる

神楽館建設に他市の事例を取り入れることはもちろんであるが、安芸高田市の神楽門前湯治村事業はマイナス面も含め多いに参考とすべきと感じている。このように総括を入れたい。

道の駅 三矢の里あきたかたについては、委員会として、令和8年度より新たな運営方式となる浜田の道の駅に関しては、他市の事例を参考とされテーマを明らかにして全体を組み立て、自主運営ができる体制を期待する、という総括はしておきたい。よろしいか。

( 「はい」という声あり )

ではそういう形で総括させていただく。これについてはホームページにすでにレポートを提出しているが、この中に総括を足したものを改めて掲載することをご承知おき願う。

今日提案した議事については全て終わったが、最後に何かあるか。先ほど話していた視察等については、この後また検討させていただきたいと思うので、よろしく願います。

以上で産業建設委員会を終了する。

[ 11時 44 分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員会委員長 川 上 幾 雄